

# 埼玉よみうり

2010年(平成22年)7月16日(第363号)月1回発行

幸  
手

## 「曳き屋」で守れ街遺産

国登録文化財の岸本家保存・活用に  
旧日光街道幸手をを感じる会ら協力

幸手市の歴史で、街をアピールする市民団体「旧日光街道幸手をを感じる会」(新井和博会長)らによる、国の登録有形文化財岸本家住宅主屋(中、日光街道沿い)の家財道具などの整理事業が明白17日午前10時から午後5時まで行われます。

昨年11月の設立以来、観光客向け説明を設置するたどり見直し、活躍したり、6月には折村(し)の参考にしたいと幸手市から視察団が訪問。徳川吉宗が同市で急べたという昼食を同会が協力して再現した「貞宗弁当(幸手巻)」を振る舞い、高い関心を集めました。

そんな同会が3月に発行した街案内「フレット」(歴史を感じるまち幸手)の表紙でもある同主屋は江戸時代建築の旧家で、宿場町として栄えた昔をしのばせる文化財です。そしてこのたび保存と活用のため、建物をそのままだ東側方向に移転する「曳き屋」の実働が始まり、家内の整理をします。

「今後とも一般の方の協力を仰ぎながら、

残された遺産をよみがえらせ、地域の活性化につなげたい」と新井さんは話します。



しょうゆ醸造業を営んでいた岸本家。パリ万博で銅メダルを受賞したことも

注目の記事

◆久喜・ゆるキャラ  
待望はかブレン  
4回